

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和8年4月18日(土)

要事前申込
(詳細裏面)

井上円了の世界旅行 —海外視察と巡回講演—

東洋大学の前身となった「哲学館」の創立者であり、「妖怪学」の祖としても知られる井上円了^{いのうええんりょう}は、実は旅行者としても際立った人物でもあります。

円了は哲学館の経営を引退した後に、「修身教会」という社会教育活動を行いました。自身が全国各地の市町村を講演して回ることを主眼としたこの活動は、明治39年から大正8年までの14年間にわたって続けられました。その間彼は5500回を超える講演を行い、聴衆は138万以上にもものぼりました。また、円了は生涯で三度の世界旅行も行っています。欧米を中心とした最初の二回の旅行に加え、三度目は南半球を中心として世界を一周するという当時としては珍しいルートを選んでいきます。

円了はなぜこれほどの旅を続けたのでしょうか？そこには彼自身の類まれな好奇心と、多くの人々に教育を届けたいという強い思いがありました。本講演ではとりわけ三度の世界旅行を中心に、井上円了の思想と行動を紐解いてみたいと思います。

◇時間：午後2時～3時30分（開場は午後1時45分）

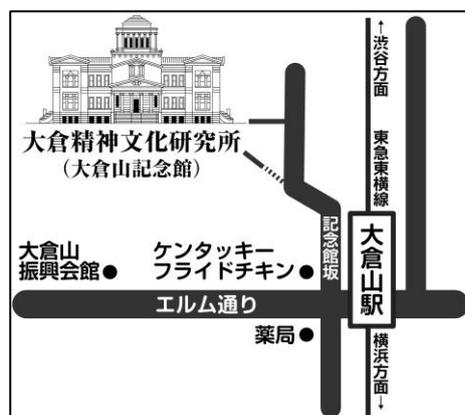
◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内
(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：長谷川 琢哉^{はせがわ たくや}（東洋大学教授）

◇定員：80名（入場無料、要申込・先着順）

◇申込方法：詳細は裏面をご覧ください



次回予告 5月16日(土) 大倉山講演会 大倉和親：需要家の満足こそが掴むべき『実体』、利益はその『影』なり 講師：黒澤 学(株)大倉陶園 総務部)